



喜多流 自主公演

平成二十八年 一月

鉢 玉

木 井

長 島

栗 谷
明 生
茂

平成28年1月10日(日)

12:00 開演 (11:00 開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂

料金:全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階敷席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円 (25歳以下、要学生証提示)

・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。
お気軽にご参加ください。

・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催 公益財団法人 十四世六平太記念財団 協力 喜多流職分会

チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>

(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813

(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813

(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。

ご予約の際ご案内いたします。

※平成27年度公演の後半5回分は発売中です。

28年度前半5回分は平成28年2月1日午前10:00より発売します。

※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・ロビー・見所でのご飲食はできません。2階ラウンジをご利用ください。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。コインロッカーもご利用ください。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ・ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ・お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
(平成28年度優待券は平成28年1月10日より販売いたします。)
- ・ご観能の際は別途チケットをご予約ください。追加料金はかかりません。ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
年間優待券のみでの観能はできません。
ご入場の際は、年間優待券とチケットをご提示いただけます。
- ・ご利用は、表記年度中(4月～3月)の喜多流自主公演のみ有効です。青年能には使用できません。

自主公演観客席御案内



S席	9,000円	C席(1階敷席)	6,500円
A席	8,000円	D席(2階席)	6,500円
B席	7,000円	学生席(2階席)	2,500円

会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。
目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車のご来場はご遠慮願います。

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ: <http://kita-noh.com/>

一月自主公演番組

能

シテ連・玉依姫 友枝 真也

シテ連・豊玉姫 佐々木多門

シテ連・玉依姫 大島輝久

後シテ・海神

前シテ・豊玉姫

栗谷 明生

ワキ連・從者 矢野 昌平

玉井

ワキ・火火出見尊 福王 和幸

ワキ連・從者 村瀬 提

アイ・文蛤の精

アイ・蛤の精

アイ・貝の精

アイ・貝の精

山本泰太郎

山本 則孝

山本 則重

山本 則秀

大鼓 大倉慶乃助

太鼓 小寺真佐人

小鼓 鶴澤洋太郎

笛 松田弘之

後見 香川 靖嗣

地謡

谷 友矩

塩津 圭介

粟谷 充雄

佐藤 陽

友枝 雄人

大村 定

粟谷 能夫

狩野 了一

狂言

隠笠

太郎冠者 山本東次郎

アド・主 山本凜太郎

アド・売り手 山本 則孝

休憩(二十分)

仕舞

羽衣

キリ

粟谷 能夫

地謡

佐藤 陽

佐藤 章雄

大村 定

金子敬一郎

能

シテ連・常世の妻 内田 成信

後シテ・前同人

長島 茂

鉢木

後ワキ・北条時頼

前ワキ・旅僧

森 常好

山本 則秀

山本 則俊

ワキ連・二階堂

アイ・早打

アイ・太刀持

高林 昌司

粟谷 浩之

高林 呻二

内田 安信

後見

友枝 昭世

内田 安信

地謡

谷 大作

中村 邦生

出雲 康雅

佐藤 寛泰

金子敬一郎

大鼓 柿原 弘和

笛 一噌 隆之

小鼓 大倉源次郎

玉井(たまのい)

火火出見尊(ほほでみのみこと)は兄の釣針を魚に取られてしまい、剣を崩して釣針にして返したが許されなかった。しかたなく海の中に入り探していると、海神(わだつみ)の都に着いた。竜宮の門前に玉井と桂の木があったので木の陰で様子を见ていると、豊玉姫と玉依姫が水を汲みに現れた。井戸の水に映る尊に気づき、名前や理由を尋ねて竜宮に案内した。姫たちの父母は尊の話聞き、釣針を捜す約束をしてもなすうち三年が過ぎた。尊は自分の国へ帰ることにし海路のしるべを尋ねると、豊玉姫は海中の乗物はさまざまあるので安心するようにと言つて立ち去った。八中人▽尊が待つところへ二人の姫が現れ、潮満玉と潮干玉を捧げ、続いて現れた竜王は釣針を捜し出して尊に捧げた。二人の姫は美しく舞い、竜王もおこそかに舞ううちに時間が経ち、尊を五丈の鰐に乗せて陸に送り届け、竜王も竜宮へと帰って行った。

(二時間四十分)

隠笠(かくれがさ)

世の中では宝物くらべが大流行、自分もそれに参加したいと思った主人は太郎冠の隠れ笠で、これを身に着れば姿が見えなくなる、とだまして売りつける。男の言葉信じた太郎冠者は大喜びで主人のもとに飛んで帰るが。

(約三十分)

鉢木(はちのき)

ある大雪の夜に、上野国の佐野のあたりで旅僧が宿を探していた。一軒の家に宿を乞うが、主人の佐野源佐衛門常世は一度断る。しかし妻の言葉に、僧の後を追ひ、呼び戻す。そして粟の飯をすすめ、秘蔵の鉢木の梅、桜、松を火にくべて暖をとらせる。有難く思った僧は名を尋ねると佐野源左衛門と名乗り、領地を横領され落ちぶれているが、鎌倉に事が起きたら一番に駆けつけて命を捨てて戦う覚悟だと話す。翌朝、旅僧は名残を惜しみつつ立ち去る。八中人▽後日、北条時頼より軍勢の招集がかかり常世も駆けつける。そして北条時頼は常世を捜し出させ過日の僧は自分であると明かす。常世の言葉が偽りではなかった忠誠を賞し領地へ戻し、鉢木の札に三箇庄(加賀の梅田、越中の桜井、上野の松井田)を与える。

(約一時間三十分)

平成二十八年二月自主公演番組予告

平成二十八年二月二十八日(日) 正午始
十四世喜多六平太記念能楽堂

八 島 内田 成信
卷 絹 友枝 昭世